

野田の売国政権

南洲翁遺訓（西郷隆盛）
十三

税金を少なくして国民生活をやたかにすることこそ国力を養うことになる。だから国にいろいろ事がらが多く、財政の不足で苦しむようなことがあっても税金の定まった制度をしっかりと守り、上層階級の人たちをいたためつたり下層階級

の人たちを、しいたげたりしてはならない。

昔からの歴史をよく考え、財政の不足で苦しむときは、必ず片寄ったことか、悪い手段で税金をとりたて、一時の不足をのがれることを財政に長じたりつばな官吏とほめそやす。

そういう小役人は手段を選ばず、むごく国民を虐待するから人々は苦しみに堪えかねて税の不当な取りたてからのがれようと、自然にうそいつわりを申し立て、また人間がわるがしこくなつて上層下層の者がお互いにだましあい、官吏と一般国民が敵対して、しまいには国が分裂崩壊するようになっていくのではないか。

今日にみる財務官僚の手のひらで転がされる与党政権は、99%の国民の従順

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計 事務所便り
2011年10月11日 (火) NO. 235
地域から明るい未来を作ろう

さにアグラをかき、外国に富を奪われ、マスコミ勢力の支援で国をコントロールしています。売国政権は、1%の為の政権です。欧州の金融危機でありませ

ん。この危機の本質は米日、英の金融危機です。ユーロでギリシャを目前

にましましに仕掛け、一儲けをたくらむ金融資本、借金棒

を引き、一番の問題は事の本質を何処まで掘り下げているのでしょうか。

問題は必ず解決できる

「楽をして儲かること

倒産会社の共通点は、経営者を含めて責任を取ろう

「うまい話には落とし穴がある」会社も個人も当たり前が見えないものです。

愛する人になること、

不況は愛の不況、思いやりの不況だ。

おカネでなく愛と思いやりの絶対的な供給不足が、いまの社会の根底を支配している。

社会に役立つこと

がビジネスマンや経営者の使命です。対価は澁、後からついてく

る。

愛するものの幸せ

愛する人になること、

不況は愛の不況、思いやりの不況だ。

おカネでなく愛と思いやりの絶対的な供給不足が、いまの社会の根底を支配している。

社会に役立つこと

がビジネスマンや経営者の使命です。対価は澁、後からついてく

る。

引きの勢力が画策しています。自主独立を掲げず、デフレ脱却の手も打たず、稚拙にTPPに追随し、自壊を待つのでなく、一刻も早く野田政権を倒さなければならぬ。三年後では手遅れ確実です？

というような意欲のある人材が皆無に近いと永守重信（日本電産社長）氏が語っています。

問題を引きずる事業不振の会社は責任を他に転嫁している場合が多いもの。

失敗例と成功例の積み重ねの中に、現在があるのです。

自分の心が思ったことが現実になるものです。

空

さみしくなったら

空

夕暮れには茜雲

夜には満天の星

あなたにも

空を見上げる

ゆとりが

必要よ

日本地図のような雲

追いかけて

—柴田トヨ

